

令和6年度第21回ヨコハマeアンケート

横浜市における文化芸術施策に関するアンケート

実施期間 令和6年12月6日（金）から12月16日（月）

事業所管課 にぎわいスポーツ文化局 文化振興課

回答者数 814人（回答率：17.2%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,741人（12月6日時点）

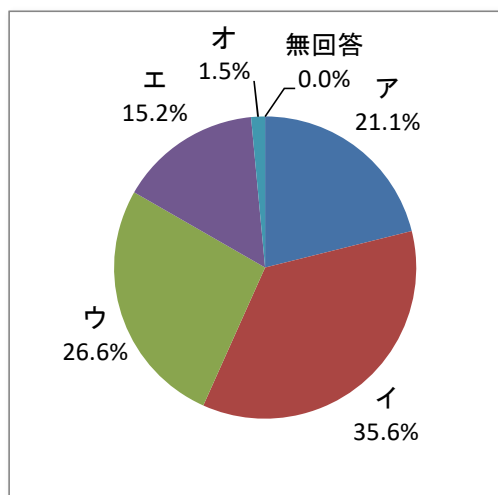
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	0 (0.0%)	8 (1.0%)	35 (4.3%)	104 (12.8%)	234 (28.7%)	242 (29.7%)	191 (23.5%)	814 (100.0%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	0 (0.0%)	8 (1.0%)	35 (4.3%)	104 (12.8%)	234 (28.7%)	242 (29.7%)	191 (23.5%)	814 (100.0%)

Q1 横浜には美術館や音楽ホール、映画館など文化施設が整備されていることに加え、さまざまな文化的なイベントや公演が行われていますが、あなたはこうした文化的な環境を楽しんでいますか。
(単一選択)

n = 814

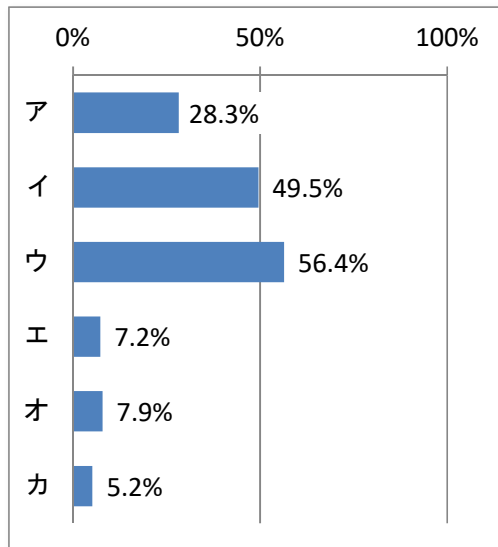
ア	楽しんでいる	21.1%	172
イ	まあ楽しんでいる	35.6%	290
ウ	あまり楽しんでいない	26.6%	216
エ	楽しんでいない	15.2%	124
オ	わからない	1.5%	12
無回答		0.0%	0
		100.0%	814



Q2 本市は2004年から「文化芸術振興」「経済振興」「まちづくり」などのソフトやハードの施策に一体的に取り組む、文化芸術創造都市施策を推進しています。その施策のうち、以下の中でご存じの取組を選んでください。
(複数選択可)

n = 814

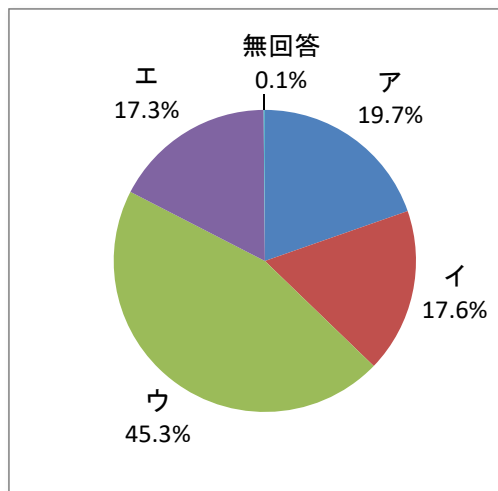
ア	BankART(歴史的建造物や都市の遊休空間をアートスペース等として利用する取組)	28.3%	230
イ	黄金町バザール、京浜急行高架下のスタジオ(違法な特殊飲食店が多数立地していた地区の文化芸術の力によるまちの再生)	49.5%	403
ウ	象の鼻テラス(横浜開港の地である象の鼻パークの無料休憩スペースをアートスペースとして活用)	56.4%	459
エ	急な坂スタジオ(かつて市営結婚式場だった建物を舞台芸術の創造拠点として活用)	7.2%	59
オ	THE Bays(歴史的建造物を”スポーツ×クリエイティブ”をテーマに創造拠点として活用)	7.9%	64
カ	アーツコミッション横浜(創造活動を繰り広げる人々をサポートする中間支援組織)	5.2%	42



Q3 本市では2001年から現代アートの国際展である横浜トリエンナーレを開催しています。行ったことがありますか。
(単一選択)

n = 814

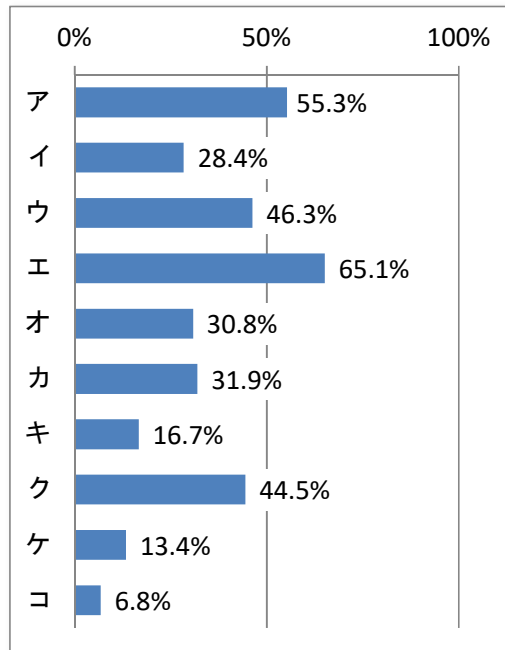
ア	過去1回は行ったことがある	19.7%	160
イ	過去数回行ったことがある	17.6%	143
ウ	行ったことはないが知っている	45.3%	369
エ	行ったことはないし知らない	17.3%	141
無回答		0.1%	1
		100.0%	814



Q4 あなたが横浜らしいと思う文化とはどのようなものですか。
(複数選択可)

n = 814

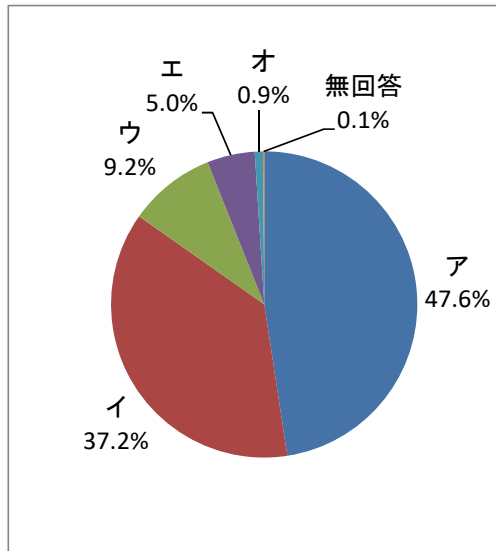
ア	専門的な文化施設で文化芸術を楽しむことができる (みなとみらいホールコンサート、横浜美術館や市民ギャラリーの企画展、能楽堂の伝統芸能など)	55.3%	450
イ	各地域で文化芸術に親しむことができる(各区の区民文化センター、市民の文化団体による活動など)	28.4%	231
ウ	文化財や自然環境等が豊富に残っている	46.3%	377
エ	歴史的な建物や公園・水辺等が文化芸術にぎわいの場として活用されている	65.1%	530
オ	大規模な音楽・ダンスイベントを楽しむことができる(横濱ジャズプロムナード、LIVE横浜、横浜ダンスコレクションなど)	30.8%	251
カ	大規模なアートイベントを楽しむことができる(横浜トリエンナーレなど)	31.9%	260
キ	アートやデザインを生かしたまちづくりが行われている	16.7%	136
ク	なんとなく、みなとまち横浜の文化を感じる	44.5%	362
ケ	アートやダンス、音楽など、様々なジャンルで若手が活躍する機会がある	13.4%	109
コ	特に感じない	6.8%	55



Q5 あなたは芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加することに興味・関心がありますか。
(単一選択)

n = 814

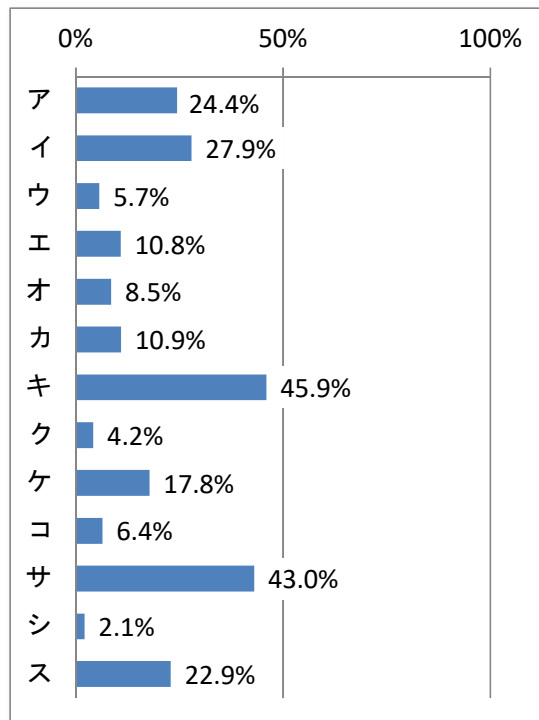
ア	ある	47.6%	387
イ	少しある	37.2%	303
ウ	あまりない	9.2%	75
エ	ない	5.0%	41
オ	わからない	0.9%	7
無回答		0.1%	1
		100.0%	814



Q6 あなたはこの1年間に、音楽ホールや美術館などで、文化芸術を、実際に鑑賞しましたか。
 以下の選択項目から、鑑賞したものを教えてください。
 (テレビ・インターネットのみでの鑑賞は除きます。)
 ※「ス 鑑賞していない」を選択された方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 814

ア	クラシック音楽(オペラなどを含む)	(Q7へ)	24.4%	199
イ	コンサート(ポップスなど)	(Q7へ)	27.9%	227
ウ	舞踊・ダンス(バレエなどを含む)	(Q7へ)	5.7%	46
エ	演劇(ミュージカルなどを含む)	(Q7へ)	10.8%	88
オ	伝統芸能(歌舞伎・能・雅楽など)	(Q7へ)	8.5%	69
カ	演芸(落語・漫才など)	(Q7へ)	10.9%	89
キ	展覧会(美術、歴史、写真、文芸など)	(Q7へ)	45.9%	374
ク	茶道・華道(茶会・生け花展など)	(Q7へ)	4.2%	34
ケ	街なか(屋外)で行われる芸術文化イベント	(Q7へ)	17.8%	145
コ	文化芸術に関する講演会・シンポジウム	(Q7へ)	6.4%	52
サ	映画鑑賞	(Q7へ)	43.0%	350
シ	その他	(Q7へ)	2.1%	17
ス	鑑賞していない	(Q10へ)	22.9%	186



その他(抜粋)

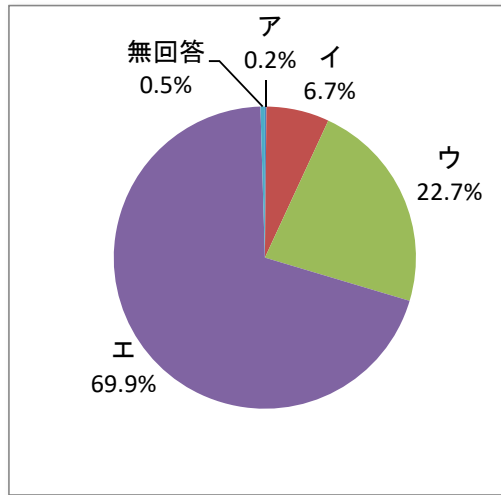
多文化共生ラウンジでの国際交流によるイベント

全日本学生音楽コンクールの横浜市民賞選定員

Q7 Q6で「ア～シ」を選択された方にお聞きします。
 あなたが過去1年間で鑑賞・参加した回数を教えてください。
 (単一選択)

n = 624

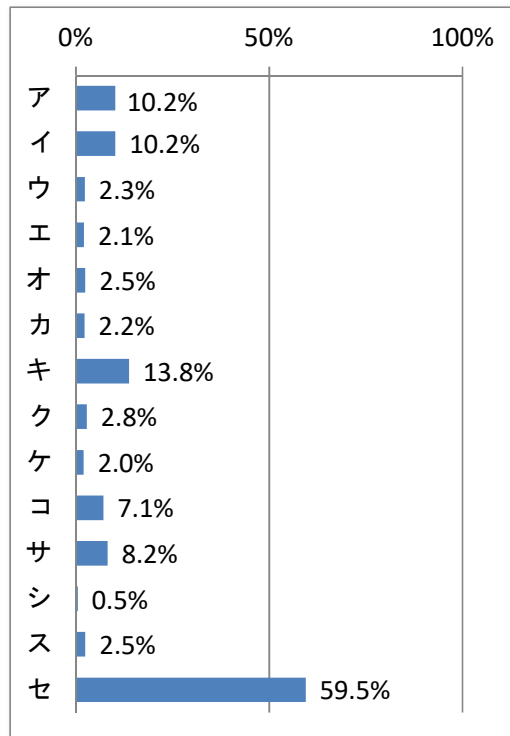
ア	ほぼ毎日	0.2%	1
イ	週に1回程度	6.7%	42
ウ	月に1回程度	22.7%	142
エ	年に数回程度	69.9%	436
無回答		0.5%	3
		100.0%	624



Q8 全員にお聞きします。
 あなたはこの1年間に、文化芸術活動(習い事等含む)に参加しましたか。
 以下の選択項目から、参加したものの(鑑賞のみ除く)をお答えください。
 (テレビ・インターネットのみでの活動を含みます)
 ※「セ 参加していない」を選択された方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 814

ア	クラシック音楽(オペラなどを含む)	(Q9へ)	10.2%	83
イ	コンサート(ポップスなど)	(Q9へ)	10.2%	83
ウ	舞踊・ダンス(バレエなどを含む)	(Q9へ)	2.3%	19
エ	演劇(ミュージカルなどを含む)	(Q9へ)	2.1%	17
オ	伝統芸能(歌舞伎・能・雅楽など)	(Q9へ)	2.5%	20
カ	演芸(落語・漫才など)	(Q9へ)	2.2%	18
キ	美術(絵画、彫刻、写真など)	(Q9へ)	13.8%	112
ク	茶道・華道(茶会・生け花展など)	(Q9へ)	2.8%	23
ケ	文芸(俳句、短歌、小説など)	(Q9へ)	2.0%	16
コ	街なか(屋外)で行われる芸術文化イベント	(Q9へ)	7.1%	58
サ	サークル活動等の文化的地域コミュニティへの参加	(Q9へ)	8.2%	67
シ	映画製作	(Q9へ)	0.5%	4
ス	その他	(Q9へ)	2.5%	20
セ	参加していない	(Q10へ)	59.5%	484



その他(抜粋)

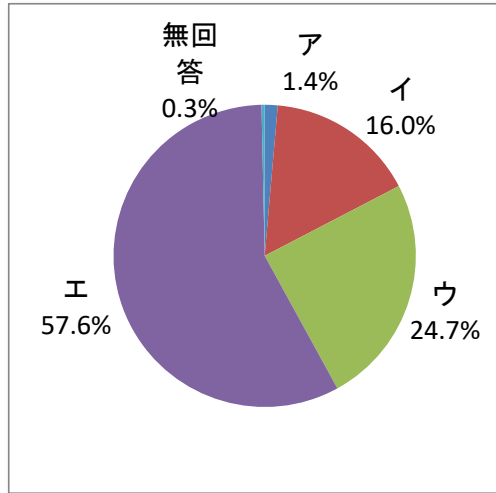
横濱ジャズブロードには毎年ボランティア参加している。

自作曲のアニメーションMVをYouTubeで公開している。

Q9 Q8で「ア～ス」を選択した方にお聞きします。
あなたが過去1年間で鑑賞・参加した回数を教えてください。
(単一選択)

n = 288

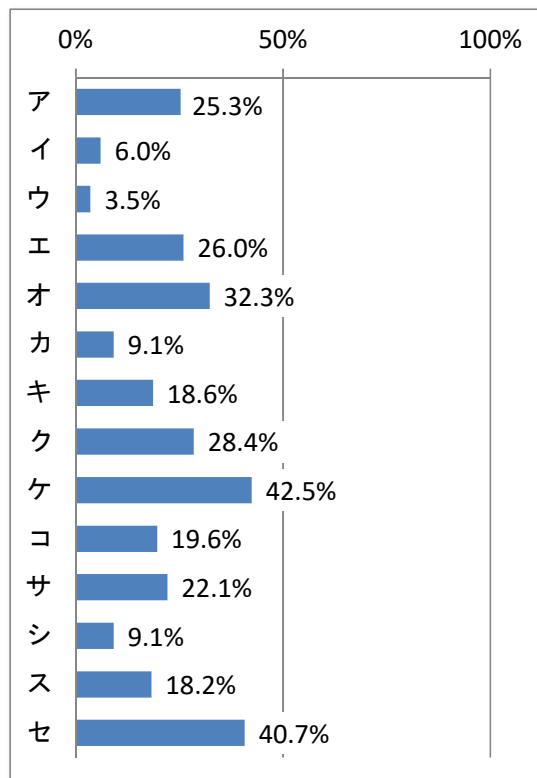
ア	ほぼ毎日	1.4%	4
イ	週に1回程度	16.0%	46
ウ	月に1回程度	24.7%	71
エ	年に数回程度	57.6%	166
無回答		0.3%	1
		100.0%	288



Q10 Q6で「ス 鑑賞していない」、Q8で「セ 参加していない」を選択した方にお聞きします。
 鑑賞または参加しなかった理由を教えてください。
 (複数選択可)

n = 285

ア	近くの施設で公演や展覧会などが行われていない	25.3%	72
イ	小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない	6.0%	17
ウ	バリアフリーや高齢者・障がい者対応サービスが不十分	3.5%	10
エ	公演や展覧会などの情報が入手できない	26.0%	74
オ	魅力のある公演や展覧会がない	32.3%	92
カ	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどで十分である	9.1%	26
キ	一緒に行く仲間がいない	18.6%	53
ク	入場料、参加費、交通費など費用がかかる	28.4%	81
ケ	仕事・学業などで時間が取れない	42.5%	121
コ	育児・介護などで時間が取れない	19.6%	56
サ	そもそも関心がない	22.1%	63
シ	活動する場所が無い	9.1%	26
ス	その他	18.2%	52
セ	特に理由はない	40.7%	116



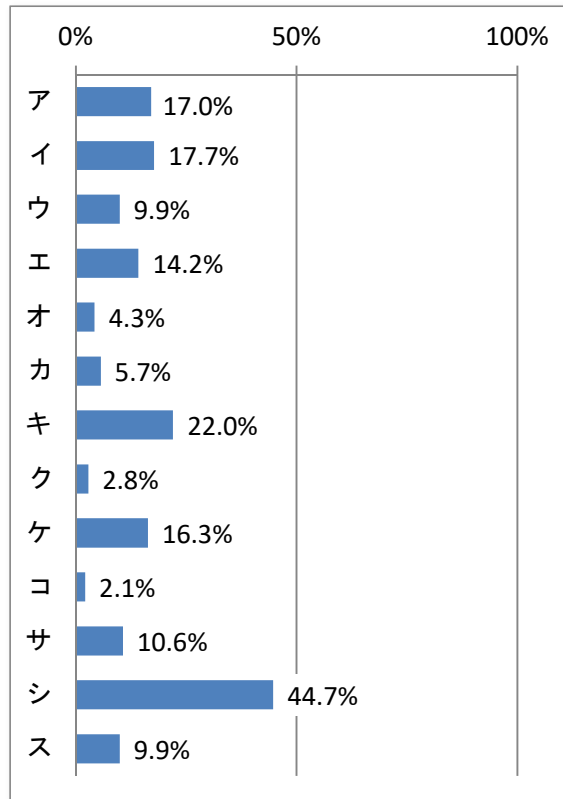
その他(抜粋)

鑑賞には大いに興味があるが、参加することに興味がない。
 コロナ以降行かないのが普通になりつつある。

Q11 未就学から高校生までの子どもと同居している方にお聞きます。
 あなたと同居している、未就学から高校生の子どもの中で、最も下の年齢の子どもは、この1年間に学校以外で、文化芸術活動(鑑賞含む)に参加しましたか。
 この中から、参加したものを教えてください。(鑑賞参加のみ、習い事等を含みます。テレビ・インターネットのみでの鑑賞・活動は除きます。)
 ※未就学から高校生までの子どもと同居していない方は、Q12へ進んでください。
 (複数選択可)

n = 141

ア	クラシック音楽(オペラなどを含む)	17.0%	24
イ	コンサート(ポップスなど)	17.7%	25
ウ	舞踊・ダンス(バレエなどを含む)	9.9%	14
エ	演劇(ミュージカルなどを含む)	14.2%	20
オ	伝統芸能(歌舞伎・能・雅楽など)	4.3%	6
カ	演芸(落語・漫才など)	5.7%	8
キ	展覧会(美術、歴史、写真、文芸など)	22.0%	31
ク	茶道・華道(茶会・生け花展など)	2.8%	4
ケ	街なか(屋外)で行われる芸術文化イベント	16.3%	23
コ	文化芸術に関する講演会・シンポジウム	2.1%	3
サ	サークル活動等の文化的地域コミュニティへの参加	10.6%	15
シ	映画	44.7%	63
ス	その他	9.9%	14



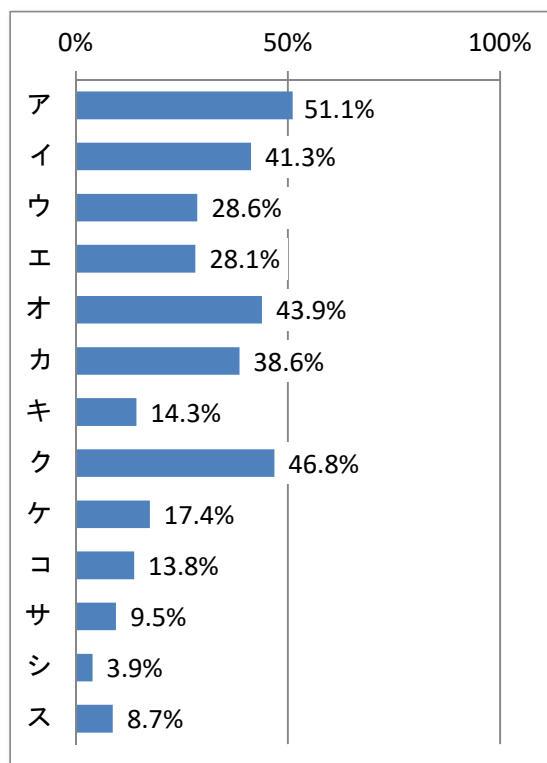
その他(抜粋)

将棋

Q12 全員にお聞きします。
 あなたは、どうすれば文化芸術活動（創作、出演、習い事）にもっと参加しやすくなると思いますか。
 （複数選択可）

n = 814

ア	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	51.1%	416
イ	活動に参加するための費用の負担が軽くなる	41.3%	336
ウ	活動のための時間がとれるようになる	28.6%	233
エ	土・日曜、祝日、夜間などにも活動が行われる	28.1%	229
オ	魅力ある内容の活動が行われる	43.9%	357
カ	初心者向けの活動が提供される	38.6%	314
キ	参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	14.3%	116
ク	情報が入手しやすくなる	46.8%	381
ケ	一緒に活動する仲間ができる	17.4%	142
コ	年齢や障がいの有無にかかわらず、参加しやすい施設整備やバリアフリー、対応サービスの導入	13.8%	112
サ	小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実	9.5%	77
シ	その他（自由記載あり）	3.9%	32
ス	特にない	8.7%	71



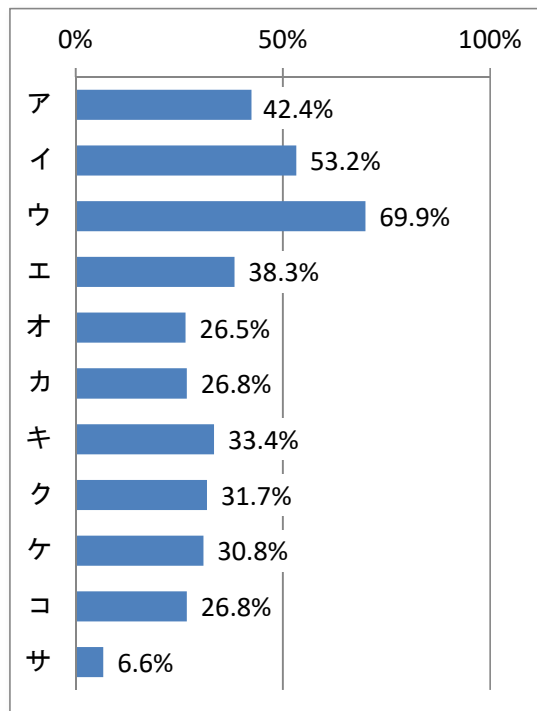
その他（抜粋）

初心者や部外者でも参加できる雰囲気作り、事前情報があれば、参加を躊躇しなくなると思います。

**Q13 横浜の文化の望ましい将来像はどのような姿であると思いますか。
(複数選択可)**

n = 814

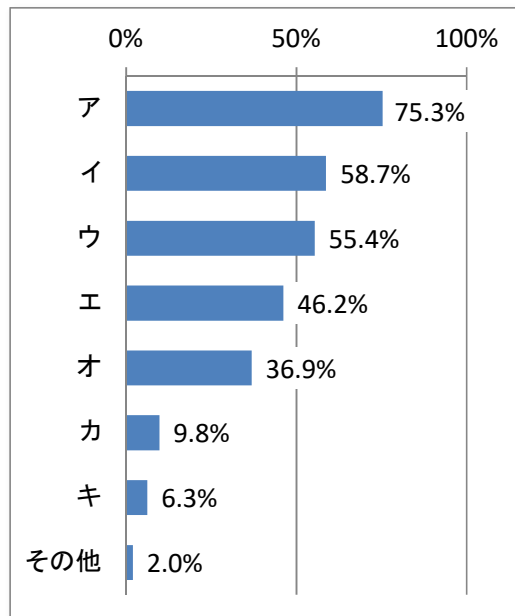
ア	多くの市民が芸術鑑賞や文化創作活動に取り組んでいる	42.4%	345
イ	横浜で受け継がれた伝統的な文化が受け継がれ、発展している	53.2%	433
ウ	歴史的な建物などを生かし、魅力ある景観が保全され、継承されている	69.9%	569
エ	市の文化施設において、各施設の特色を生かした事業が活発に行われている	38.3%	312
オ	市の文化施設以外の、各地域の身近な場所において、文化活動が充実している	26.5%	216
カ	国内外と文化を通じた交流が盛んにおこなわれている	26.8%	218
キ	文化が観光などの産業分野とともに発展している	33.4%	272
ク	高齢者や障害者が気軽に文化芸術に触れることができ、活発に文化活動に取り組んでいる	31.7%	258
ケ	青少年が多様な文化芸術に触れ、創造性や感性が育まれている	30.8%	251
コ	芸術家・文化活動者が育ち、国内外で活躍している	26.8%	218
サ	特に思いつかない	6.6%	54



Q14 文化を振興する施策は、どのようなことにつながるとお思いますか。
 あてはまるものをすべてお選びください。
 (複数選択可)

n = 814

ア	文化は、人の心を豊かにし、生活に潤いをもたらしてくれる	75.3%	613
イ	文化は、人生の生きがいとなるとともに、心の癒しや明日への活力となる	58.7%	478
ウ	文化は人と人をつなぎ、コミュニティの形成につながる	55.4%	451
エ	文化は、観光や集客を通じて、地域活性化に貢献する	46.2%	376
オ	文化は横浜の象徴であり、都市の格を高める	36.9%	300
カ	スポーツやレジャーなど他の分野を充実させた方が良い	9.8%	80
キ	財源や人員など行政のリソース(資源)が限られている中で、文化振興に力を入れる必要はない	6.3%	51
その他		2.0%	16



その他(抜粋)

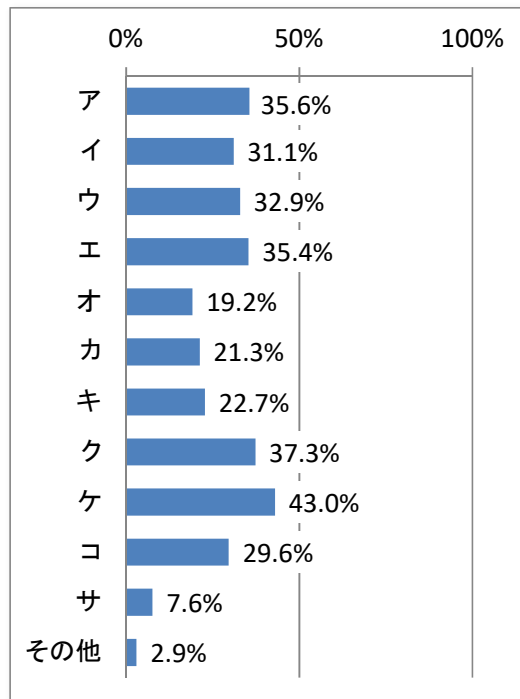
文化鑑賞や、創造活動への参加は、けっして日常生活にとっての「プラスアルファ」ではなく、人間が人間らしく生きていくための基礎的なものだと思う

横浜の街で行われる市民による、市民のための、市民の文化活動が持続的に展開されると、横浜という自分が暮らす街をますます好きになり、いわゆる郷土愛が醸成される。

**Q15 本市の文化を振興するために今後何に取り組むべきだと思いますか。
(複数選択可)**

n = 814

ア	身近な地域で文化活動ができるよう、文化施設を整備する	35.6%	290
イ	美術や音楽、演劇等の文化芸術活動を通じて、地域課題の解決ができるよう団体等を助成・支援する	31.1%	253
ウ	障害者や高齢者、子供等、あらゆる人々が文化活動に参加・交流できる機会を創出するなどの事業を行う	32.9%	268
エ	あらゆる子供が美術や芸術に親しめる環境を整備する	35.4%	288
オ	世界へはばたく芸術家を育成・支援する	19.2%	156
カ	大規模なアートイベントの開催を通じ、横浜の魅力を内外に発信する	21.3%	173
キ	アートを活用した、まちづくりを進める	22.7%	185
ク	文化イベントの開催情報や文化資源に関する情報等、文化情報を積極的に提供する	37.3%	304
ケ	魅力的な展示・イベントを行う	43.0%	350
コ	周辺大学や地元商店街等との連携を強化し、文化を通じた地域振興に貢献する	29.6%	241
サ	十分な取り組みが進んでいるため、新たに取り組む必要はない	7.6%	62
その他		2.9%	24



その他(抜粋)

ウォーキングツアーがもっと増えて一般化してもいいと思います。

文化の振興をする必要はあるが、背伸びをせずお金をかけた箱ものなどは不要。可能な限り有るものを活用しつ身の丈の活動を要望します。

**Q16 本市における文化芸術施策について、ご意見がありましたらご記入ください。
(自由意見)**

(抜粋)

子どもの小学校にある特別クラブ活動に参加するようになって、子どもと芸術を楽しむ機会が増えました。また、地域や企業での発表もあり、地元へ愛着が湧きました。少しでも多くの子どもに芸術を身近に感じてほしいです。

文化芸術を軽んじる社会に未来はないと思っています。様々な施設や歴史的な建造物が残る横浜に生まれたおかげで文化芸術に触れる機会に恵まれているなど感謝しているので、これからもそういった街であってほしいです。少なくともこれまでの歴史的なものを保全するための予算は惜しまずにいてほしいと思います。

横濱ジャズプロムナードやトリエンナーレ、ライトアップ等、横浜市は魅力的な文化、芸術に関する取り組みができていると思う。益々発展させて市の魅力を高めてほしい。

参加しやすい活動を地域の人に展開していくと、活況が生まれ、地域の結束にもつながります。

横浜市の文化芸術施策に関し、全体として非常にポジティブにとらえており、横浜に住み続けたい理由の一つです。敢えて言うなら、都心臨海部への集積が進む一方、一極集中の傾向が強いように感じます。ある程度やむを得ないこととは思いますが、都心臨海部以外にも核となる文化芸術拠点、イベント等が根付いていくと良いと感じます。

横浜が文化芸術都市として個性を出すのは難しいと感じる。行政サービス面では区民利用の文化施設が充実しているため、今のままで十分に思う。文化芸術施策に取り組むことが前提であれば、一般のアートや芸術に重きを置くのではなく、横浜の地理や歴史に紐づいた固有の文化を定義し、それをしっかり継承してほしい。

特に費用面から、行政は今以上のイベント開催を主導するのではなく、市民/団体の活動をサポートする側に回るべきではないかと思います。

官民連携が重要だと思います。文化芸術に関しては、民間の様々なビジネスとして存在できるものだと思います。うまく民間と協力すべきだと思います。